《Lesson 2》　動詞を説明する副詞の足し方

動詞を説明する副詞は基本的に「一般動詞（＋目的語）」の後に足されます。例えば、一般動詞が study（勉強する）で副詞が hard（熱心に）の場合 study hard の順番で足されます。また、このフレーズに English（英語）という目的語を足し、「英語を熱心に勉強する」とする場合、study English hard となります。

need to ○○/ want to ○○/ like to ○○ という形が入る場合は、「need to などを含めたフレーズ全体が動詞となる」と考えます。つまり「英語を熱心に勉強する必要があります」は、need to study English hard となります。

そして、副詞によっては very といった「副詞の意味を強調する副詞」を足すこともできます（これは副詞が副詞を説明する形となります）。

【動詞を説明する副詞の足し方：基本の形】
一般動詞（＋目的語）＋（very）副詞

＜例＞

(1) He studies hard.　　【一般動詞＋副詞】
（彼は熱心に勉強します）　＜動詞を説明する副詞＝hard＞

(2) Tom practices the guitar very hard.　　【一般動詞＋目的語＋副詞＋副詞】
（トムはとても熱心にギターを練習します）　＜動詞を説明する副詞＝hard＞

(3) She wants to do her homework first.　　【一般動詞＋目的語＋副詞】
（彼女は彼女の宿題を最初にしたいと思っています）　＜動詞を説明する副詞＝again＞

(4) I need to do it again tomorrow.　　【一般動詞＋目的語＋副詞＋副詞句】
（私は明日それを再びする必要があります）　＜動詞を説明する副詞＝again＞

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。